２０２６（令和８）年度　第３９回　特定テーマ講習会

「現場の声が求める熱処理の DX」

主催：（一社）日本熱処理技術協会西部支部
協賛：（一社）日本鉄鋼協会（公社）日本金属学会関西支部
マテリアルデザイン研究会

会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
また当支部の運営につきましては、日頃から格別のご支援・ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。
本特定テーマ講習会は、熱処理技術に関するタイムリーなテーマを毎回特集しており好評を得ています。

本年度は、「現場の声が求める熱処理の DX」と題し、熱処理現場における生産性向上、品質保証、人材育成・技能継承などの課題に対し、デジタル技術や AI を活用した取り組みを幅広く紹介します。現場で実践されている事例を通じて、DX 推進の考え方や活用の勘所を学ぶことができる内容となっています。熱処理現場をはじめとするものづくりの現場の発展に向けたヒントを得る機会として、ぜひご活用ください。会員の皆様をはじめ、多数のご参加をお待ちしております。

記

【日時及び会場】　**２０２７年２月１０日（水）　０９：５０～１６：３５**
大阪科学技術センター　４階　４０１　https://www.ostec.or.jp/

【定　　員】　100 名

【参　加　費】　会員　：15,400 円　協賛団体会員：15,400 円
学生　：　1,100 円　非会員　　：30,800 円　（全て 10％税込）

【スケジュール】

09:50―10:00	開会挨拶及び注意事項	西部支部　常任幹事	山陽特殊製鋼(株)	藤松威史
	支部長挨拶	西部支部　支部長	(株)TONEZ	大山照雄
10:00-11:00	**講演①「製造現場のための生成 AI 活用法：導入ステップと実務上の注意点」**			
	兵庫県立大学大学院　　森本雅和　氏			
	本講演では製造現場での生成 AI 活用法として、まず、Gemini Notebook を紹介します。与えられた情報源のみから回答を生成してくれる嘘（ハルシネーション）の少ない即戦力となる生成 AI ツールであり、スライドやクイズ、音声解説など様々な形式の資料出力も可能です。つづいて、最近の AI エージェントの利用方法について紹介します。非プログラマでも簡単に業務で活用できるツールが作成できる活用事例を紹介するとともに、AI エージェント暴走の危険性，安全な利用のための初期設定などについて詳しく解説します。			
11:10-12:10	**講演②「生産計画を、経験と勘から最適化へ～金属熱処理向け生産計画最適化サービスの実践事例～」**			
	デジタルソリューション(株)　　小谷憲雄　氏			

	生産計画を経験と勘だけに頼っていませんか？ 設備稼働率の向上と納期遵守の両立は、多くの製造現場に共通する課題です。金属熱処理は工程の処理時間も長く、熱処理方法にもそれぞれ特徴があります。 本講演では、株式会社ナガトと広島大学・中野教授が開発し、弊社が運用する生産計画最適化サービスをご紹介します。 連続炉・バッチ炉・高周波焼入れやシフト計画への適用事例を、デモと計算結果を交えて解説します。			
12:10-13:10	昼食休憩			
13:10-14:10	**講演③ 「10 年後の熱処理現場をつくる DX ― 人・技能・データを未来につなぐ ―」** **(株)上島熱処理工業所　　坂田玲璽　氏** 10 年後も持続的に成長できる熱処理現場をつくるためには、デジタル技術の導入だけでなく、それを活かす人材の育成と技術・技能の継承が欠かせません。本講演では、将来の中核を担う係長・主任層を育てるための組織の若返り、技術・技能伝承の実践、現場業務の IT 化、さらに蓄積してきた過去のデータを活用した機械学習の事例を紹介します。人・技能・データをつなぐ取り組みを通じて、現場から進める熱処理 DX の一例を示します。			
14:20-15:20	**講演④「AI 画像外観検査導入の注意点と成功の鍵」** **兵庫県立大学大学院　　森本雅和　氏** 製造現場における品質保証は熟練者の経験に依存しがちですが、人手不足の深刻化に伴い「目視検査の限界」が課題となっています。本講演では、製造現場における「AI 画像外観検査」の具体的な開発事例を紹介するとともに、過去の導入失敗事例から外観検査導入時の注意点について詳しく解説します。			
15:30-16:30	**講演⑤「熱処理炉の予防保全ツール『CRism』」** **中外炉工業(株)　　川口利幸　氏** 人手不足が深刻化する現代において、設備の生産性向上は急務の課題であり、様々な IoT ツールが紹介されています。その中でも「CRsim」は中外炉工業が開発した熱処理炉のための予防保全・遠隔監視ツールです。2021 年の販売以降、多数の熱処理炉への導入をいただいている理由について紹介します。			
16:30-16:35	閉会挨拶	西部支部　常任幹事	山陽特殊製鋼(株)	藤松威史

【申 込 方 法】 西部支部 HP にアクセスの上（https://jsht.smoosy.atlas.jp/ja/seminar_west）参加申込書を送信ください。
FAX　0725-51-2527　　info_seibu@jsht.or.jp
または下記 URL、QR コードの申込フォームよりお申込みください。
https://forms.gle/HNxWw8EmN1zZe7Ug9

【締 め 切 り】 1 月 29 日（金）または定員に達した場合

【問い合わせ先】 (一社)日本熱処理技術協会西部支部
Tel/Fax：0725-51-2527　　e-mail：info_seibu@jsht.or.jp